

Joke-Loving Club 2025年 新年会

2025年 1月 25日(土) 14:00 - 16:00 日本近代文学館 + ZOOM

MC: 長谷川真弓



日本近代文学館にて

2025 新年のご挨拶

豊田一男



皆様、明けましておめでとうございます。今年もよろしく願いいたします。

今年は、残念ながら、美味しそうなランチパーティーにも、本会場での会にも出席できません。相変わらず、歩くことが困難な状態です。「パーキンソン病」だと言われていましたが、精密検査の結果、そうではないということが分かり、胸をなでおろしています。しかし、歩行困難は相変わらずで、近くの買い物も困難な状態です。杖をついて、転倒しないように気を付けながら、歩いています。頭は元気なつもりですが・・・

私たちの「英語のジョーク楽しむ会」が今後も順調に進んでいくことを祈念しつつ、新年のご挨拶といたします。ありがとうございました。

2025年 MC の記 長谷川真弓



JLC 新春トークは毎年楽しいひと時だ。理由は簡単。奇数月のジョークコンテストでたまに出くわす難解な joke に煩わされることなくひたすら楽しめるから。Just listen でいいわけだ。

無責任に受け身でいられる。もう一つの理由は発表の内容にパーソンを感じるから。グワットゆすぶられる。

ご本人の体を突き抜けてきた、触媒作用を経てきた感のある皆さんのトークを私の新年のゴーサインにしている。



A. ジョークコンテストの部

大谷さんは2年連続11月に第一位、11月男。本コンテストの存在意義を示す大波賞3回のうち、2回豊田さんが獲得（ともに女性が年齢をごまかす主題）、さすが本会の代表（看板）です。5月、7月、9月は激戦で、3回とも同点第一位二人となりました。特記すべきは棚橋さんが、3回とも首位を分けられたことです。達人でありながら、謙虚なお人柄（謙虚の国から謙虚を広めやってきた方）。

3月 第68回 MC賞 田中洋一郎

第1位 三田弘美

Pakistani woman: Guess what? I'm going for an arranged marriage! English woman: How could you marry someone you don't know? Pakistani woman: How could you marry someone AFTER knowing him? (30 words)

MC 談：二人の婦人の話の内容は全くその通りだけど、改めて通しで見ると主張のアンバランスが面白いとのことでした。“AFTER”が意味深長のコメントも。（“knowing”も含蓄が深い）

大波賞 豊田一男

She insisted that she'd just turned forty, but she must have made a U-turn somewhere. (15 words)

MC 談：ご婦人の齢のサバ読みに関するものです、“turn”どころか“U-turn”と決めつけるところが強烈です。（例えば10年前、50歳でU-turnすると、現在公称40歳、実年齢60歳、サバ幅20歳）

● **5月** 第69回 MC賞 ??? 下記内容から当ててください

教養がにじみ出ているMCの前振り：*A difference of taste of Jokes is a great burden on love* といいますが、ジョークの解釈の違いを討議することにより我々の愛（ジョーク愛）はburdenではなく、より一層深められました。

同率第一位 棚橋征一

Arguing with your wife/husband is a lot like trying to read the Terms of Use on the Internet. In the end, you just give up and go "I agree." (29 words)

MC 談：これは本当にうまいジョークですね！！インターネットの長～～い利用規約は（よくわからないけど）とりあえず同意、同意とするしかない我々の心を汲んでくれています。夫婦の会話もしかり。ジェンダーも視野に入れて wife/husband と選択肢を設けられた棚橋さんらしい優しい技も効果を奏し男女問わず一同激しく AGREE!! 堂々の1位を獲得しました。

同率第一位 服部陽一

Tom : I'll die if I couldn't marry you. Jane : Serious? Tom : Of course! Jane : Ok, I'll take reservations. Tom : Really?! Church and hotels? Jane : Church and mortician. (27 words)

MC 談：♂君と結婚できなかつたら僕死んじゃうよ。♀本当に？（上目遣いで訴えるように）♂もちろんさ！（愛が高まる）♀わかったわじゃあ私予約するわね♂ホント！！ああ❤️教会とホテルだよね？（愛の絶頂）♀あら、教会と葬儀屋よ あ～何て哀れなトム（涙）&したたかなジェイン とにかくめちゃくちゃおかしいジョーク オチが最高～！！とみんなの大爆笑を招いてこちらも堂々の1位でした。

*ちなみに服部氏と元カノの話（眉唾？）だとか・・・世の女性ジェインに倣え！

● **7月** 第70回 MC賞 棚橋征一

同率第一位 棚橋征一

Biden : I came up with a new campaign slogan, MAGA, to beat you up. Trump : Stop confusing voters! Biden : Don't worry, mine is different. It's "Make the Aged Great Again." (30 words)

MC 談 6月のTV討論会で失態をさらして以降、自陣営からの撤退圧力も強まって苦境のBiden、汚名挽回策としてTrumpのスローガンをパクって、我田引水した模様。Americaをthe Agedに入れ替えて、「高齢者を再び偉大な座に就かせましょう」とアピール。MCとしては初めて創作してみたジョークなのですが、高い得点を頂けたのは、まさにbeginner's luckでした。

同率第一位 大野和子

Woman: Don't assume I'm dying alone. I might find someone, you never know. Waiter : I asked if you were dining alone. (19 words)

MC 談 レストランへ一人でやってきた女性客にウェイターが声をかけた。「おひとり様のお食事ですか? (Are you dining alone?)」と尋ねたところ、女性はなぜか'n'の音をキャッチできず、'dying'と聞き違えた。その結果、女性の返事は「私が孤独死する運命みたいに思わないでね。いい出会いがあるかも知れないでしょ」となった。「Nの悲劇」という小説があったのを思い出しました。

● **9月** 第71回 MC賞 小澤正樹

同率第一位 小澤正樹

Those candidates! Nice to know only one of them can get elected. (12 words)

MC 談 : トランプ vs ハリスに加えて自民と立憲の党首選と選挙戦が花盛りですが、候補者の中には「この人はダメだろう」という人もいるのでは? 1人が選ばれるのは仕方がない。むしろ1人で済むのは不幸中の幸い。皆さんも同じ思いだったのか、支持を集めました。

同率第一位 棚橋征一

A: In Paris, la Seine was used for triathlon, downplaying the water quality.

B: Indeed, some athletes got sick. Guess how people called them.

A: Umm?

B: Les Miserables. (29 words)

MC 談 : 101年もの間水質汚染のため遊泳禁止だったセーヌ川を泳がせて安全なのか、と議論になったオリンピック前、パリ市長が悠々と泳いでみせました。とはいえ競技では嘔吐したり体調を崩す選手が続出。道頓堀川の4倍の大腸菌数とも。まさに「ああ、無情」。

大波賞 服部陽一

A: Mississippi lent Missouri her new jersey.

B: So what does Delaware?

A: I don't know. Alaska.

C: Nebraska! She is naked. (18 words)

MC 談 : 一瞬頭に大きな?が浮かぶジョークですがnew jerseyあたりからなにか見えてくる。書き換えると

A: Miss Issippi lent Miss Ouri her new jersey.

B: So what does Dela (Miss Dela Issippi) wear?

A: I don't know. I'll ask her.

C: Never ask her! She is naked. となります。アメリカの6州を入れ込んだ言葉遊びジョークでした。イシッピさんはなけなしの服を貸してしまったよう。投票数0→4で大波賞を獲得!

● **11月** 第72回 MC賞 大野和子

第1位 大谷秀之

The government have newly introduced a beautiful lady tax. Almost all of the women voluntarily filed their tax returns. The tax authorities have decided to accept any false declarations. (29 words)

MC 談: おもしろくて楽しいジョークに、たくさんの票が入りました。会場の女性二人は、「美人税、私なら申告する!」「私も絶対に申告する!」と、素早く反応。そして、「日本政府はこれをやったらいいのにね」とも。鏡を見てはため息をついている、けっして若くはない私も、どうやら女心は失ってないようです。

大波賞 豊田一男

When a man has a birthday, he takes a day off. When a woman has a birthday, she takes a year off. (22 words)

MC 談: 欧米では、誕生日休暇をとる人もいるのでしょうか?そしてなんと、女性の中には、ちゃっかり一年も誕生日休暇を取るつわものも?「えー!どうやってとるの?」と声が上がりました。出産や介護とか自主研修とか、繰り返し誕生日を偽って、取るのでしょうか?最終的には「なるほど、あるかも」とご意見がまとまりました。(年齢を1歳減らす?!)

B. 研究発表の部

- 1月 新年会 岡本真弘人 Walks along the Thames Path Downward from Oxford to Windsor 第2部 巧みな話術とエピソードがひかる特別出演でした。
- 3月 第98回研究発表会 小澤正樹 President Jokes 2 Focusing on George Walker Bush ジョーク満載のなか、“The reason I believe in a large tax cut is because it’s what I believe.”はトランプ的。
- 5月 第99回研究発表会 豊田一男「ジョークの諸相 ③Tall tales: 大げさなほら話」絶対に起こりそうもないことを尤もらしく語る。
「グリーンランドよこせ!」と言ってる、例の不動産屋のおっさんと勝負できそうなほら話満載
- 7月 第100回研究発表会 岡本真弘人 『源氏物語』を俯瞰する 世界の中でのその周辺 NHKの大河ドラマを超越したグローバルな視野での「源氏物語」の位置づけ。
- 9月 第101回研究発表会 服部陽一:「科学技術の進歩にまつわるエピソード その12」 アリストテレスから石川啄木まで多彩な人物が登場。
- 11月 第102回研究発表会 安藤雅彦 LET’S HAVE FUN WITH NEWS HEADLINES Blockbuster or bladderburster? 映画館での個人的体験から生まれた。

初笑いショート・スピーチ

今井真由美



みなさま あけましておめでとうございます。(トップバッターを期待して前座のなぞかけを少々)

「蛇」とかけまして

1. 「今日(月末)の私の財布」と解きます

こころは「おあし」がありません

2. 「今日の私の体重」と解きます。

こころは「heavier!!!」(へびや〜)

3. 「棒」と解きます。

こころは「藪から出てきます」

4. 「満点」と解きます。

こころは「丸のみ」

満座の大爆笑、満点を頂けるジョークを目指して今年も楽しく参ります! よろしくお願いたします

坂井孝彦



トランプ大統領の就任演説がメディアで取り上げられています。そこでは彼の過激で攻撃的な発言のみが紹介されていますが、演説の全文をよく読むと極めて真っ当な主張もしていることがわかります。今日はトランプ大統領のメディアではあまり報道されない演説部分をご紹介します。

Many people thought it was impossible for me to stage such a historic political comeback. But as you see today, here I am. The American people have spoken. I stand before you now as proof that you should never believe that something is impossible to do. In America, the impossible is what we do best. From New York to Los Angeles, from Philadelphia to Phoenix, from Chicago to Miami, from Houston to right here in Washington, D.C., our country was forged and built by the generations of patriots who gave everything they had for our rights and for our freedom. They were farmers and soldiers, cowboys and factory workers, steel workers and coal miners, police officers and pioneers who pushed onward, marched forward and let no obstacle defeat their spirit or their pride. Together they laid down the railroads, raised up the skyscrapers, built great highways, won two world wars, defeated fascism and communism, and triumphed over every single challenge that they faced.

多くの人々は、私がこのような歴史的な政治的復活を遂げることが不可能だと思っていました。しかし、今日、ここに私がいることを見てください。アメリカの人々は声を上げました。今、私は皆さんの前に立ち、何か不可能だと信じてはいけないという証としてここにいます。アメリカでは、不可能なことこそが私たちの得意とすることです。ニューヨークからロサンゼルス、フィラデルフィアからフェニックス、シカゴからマイアミ、ヒューストンからここワシントン D.C. まで、私たちの国は、私たちの権利と自由のために全てを捧げた愛国者たちの世代によって鍛えられ、築かれました。彼らは農民や兵士、カウボーイや工場労働者、鉄鋼労働者や炭鉱労働者、警察官や先駆者たちで、前進し、進み続け、どんな障害も彼らの精神や誇りを打ち砕くことはありませんでした。彼らは共に鉄道を敷き、摩天楼を建て、偉大な高速道路を作り、二度の

世界大戦を勝ち抜き、ファシズムと共産主義を打倒し、直面したあらゆる挑戦を乗り越えました。



大野和子

こんなストレスフルな時代に、こんなにハッピーに生きている若者たちがいました！

December 22, 2024 AsahiWeekly より

「安全と友情が簡単に得られる国への短い訪問」 Aviral Gokool

私達が最後に会ってから、半年が経っていました。それは友人にとって米国を離れる初めての旅であり、アニメやソーシャルメディアを通じて知っていることを除いて、彼には日本に対する期待というものが一切ありませんでした。

「日本のなにがそんなに特別なんだ？」と、彼は不思議そうに言いました。特にやりたいことがあるかと聞くと、「とにかく旅行者らしくないもの」とのこと。私はニヤリとしました。私たちは素晴らしい時間を共に過ごしました。近所の友人たちとのバドミントンに始まり、プロ野球の試合観戦をしたり、夜遅くに窮屈なバーで地元の人たちと酔っぱらったり、一緒に過ごしたみんなとお別れ会のハンバーガーパーティで集まったり。友人は、ロサンゼルスでは経験したことのなかった共同体意識や安全さ、そして幸福を感じたのでした。

日本のおもてなしは頼もしいものでした。友人は、出会った人すべてが彼のことを、彼の経歴や個性を真に大切にしてくれていると感じていました。彼は日本語を話せませんでしたが、人々は英語で会話しようと最大限の努力をしてくれ、彼が確実にいい時間を過ごせるように取り計らってくれました。

日本での滞在が終わりに近づくにつれ、彼は徒歩での移動が不可能な、個人主義の社会に戻る不安に襲われました。新たな友だちを作ったり、親密なコミュニティを探したりするのが難しい社会です。彼は日本で受け入れられたと感じ、帰属感を覚えたのでした。

こういったすべてを思い、彼の頬を涙が伝いました。「帰国したくない」と彼は言いました。空港までの移

動は重苦しい空気に包まれていました。彼はとどまりたいと願ひ、去ることに抵抗を感じていました。別れ際、最後に手を振りながら、私の思いはただ一つ、「絶対に(この国を)離れたくない」でした。

アヴィラジ・ゴクール

2000年、米カリフォルニア州ロサンゼルス生まれ。父親はモーリシャスの、母親はインドネシアの出身。カリフォルニア大学アーバイン校卒。ジャーナリズムを専攻しながら、日本語クラスを3年間受講した。23年に来日し、東京在住のフリーランス・ジャーナリストとして活躍中。日本駐在の外国人特派員になることを目指している。カラオケバーや大衆居酒屋がお気に入り、時間をみつけて日夜、都内の穴場スポットを探索している。



舟崎正敏

インドについては知られているようで知られていないことが多いと思います。

5年インドにいた私は下記のような記事を見たり聞いたりするとおかしいと笑ってしまいます。

1. インドは中国を抜いて世界一の人口を抱える国になった。国連統計(2023年)は下記どおり。

この記事を見て私は笑ってしまいます。

単位：千人

インド	1,438,070
中国	1,422,585
USA	343,477
インドネシア	281,190
パキスタン	247,883
ナイジェリア	227,883
ブラジル	211,141
バングラデッシュ	171,457
ロシア	145,441

(1) 上記を見て国連はどうやって上記の数字を掴み発表したのかと思う。

インドでは2014年時のモディ首相(今も首相)が雇用統計を含め統計をだすことを禁止したのです。それなのにどうして国連が人口を千人単位までつめたのか大いに疑問。

インドでは国連が定義する under poverty が人口の3割を占める。こうした人々をどうやって数えたのか?

税金を納める職についている人は6千万人しかいない。

インドは州政府の力が強い。地方交付税が人口に左右されるとしたら果たして州政府が人口調査をしても正確に中央政府に報告するか疑問。

(2) 昔(45年くらい前だが)ナイジェリアで中央政府が人口調査を各州政府に命じたことがあった。すると州政府は住民に対し人口調査をするから1週間家を出るなど言った。そのために1週間外出しない住民はおらず調査は難航した。

更に人口で地方交付税が決まるので各州政府は水増し報告をした。その後人口調査はやらないことになった。

従い上記数字はどうやって出されたか、昔とそんなに変わったとは思えない。

(3) Pashtuns=Pathans=Pakhtuns(呼び方は3種あり)と言われる通商の民がアフガニスタンに15百万(人口の47%)、パキスタンに44百万(人口の18%)いるといわれる。この人たちは移動をよくする、また各国に散らばって住み商売をやっている。税金は気に入った方つまり時にパキスタンへまたアフガニスタンに払うとのこと。こうした人たちを人口調査でどのように数えているのか?

(4) いわゆる旧共産圏の国の発表する統計数字は信頼度が低い。インドの人口が世界最大と言われるが果たしてそうか大いに疑問。

2. “インドレストラン”と書かれた看板を見て笑ってしまいます。

実はインド人がやっているレストランは日本ではごく少ないのです。ただパキスタンカレーとかアフガニスタンカレーでは売れないのでインドカレーと言う看板が出されています。実際の経営者はパキスタン人、アフガニスタン人、ネパール人、バングラデッシュ人、です。そして上記通りパキスタン人といっても Pashtuns の人たちが経営者になっている場合が多いのです。ドバイで商売しているパキスタン人と思われる人たちは Pashtuns が多いのです。



安藤雅彦

McDonald Trump had a shift serving fries. Will the stunt supersize his base?

Trump didn't work a real shift: the franchise was reportedly closed for normal business hours and the customers were all pre-screened.

McDonald's said in an internal message seen by Bloomberg News.

"We are not red or blue – we are golden."

But the Trump campaign is already using buzz from the event to sell shirts commemorating the visit with the phrase "MAGADonald's".

注 映画 Super Size Me

The Guardian, 22 Oct 2024



小池 温



What did the clock ask the watch?

- Hour you doing.

What fruit do twins love?

- Pears.

Why are snails slow?

- Because they are carrying a house on their back.

What's the smartest insect?

- A spelling bee.

How does the ocean say hi?

- It waves.

What's a cat's favorite dessert?

- A bowl of mice-cream.



小澤正樹

8年前の2017年1月20日、JLCの新年会が渋谷ライオンで盛大に行われていたちょうどその頃、ワシントンでは第45代アメリカ大統領トランプ氏の就任式が執り行われていました。そして今年再び、この新年会と第47代大統領就任式が数日違いで行われる巡り合わせになりました。彼には随分ジョークのネタになっていただきましたが、2期目となるとさすがに食傷気味。そこで今回は昨年撮影したちょっとおめでたい(?)写真をご覧ください。

1 紫金山アトラス彗星 (2024年10月)



昨年10月中旬に久々の大彗星として現れた紫金山アトラス彗星。その周期は一説では8万年で、前回はネ

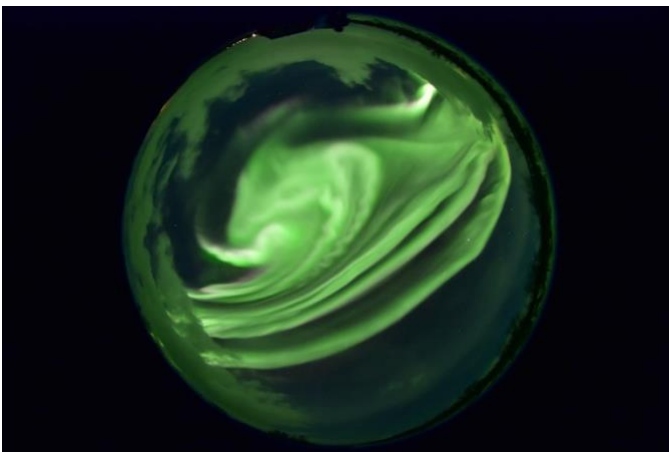
アンデルタル人も見たであろう、とも。次回8万年後は誰が見ることになるのか気になります。

2 三河湾の蜃気楼 (2024年11月)



蜃気楼で有名なのは富山湾ですが、愛知県の三河湾にも出現！遠くの島が浮いたように見えています。勤務先の学校から撮影しました。ひょっこりひょうたん島みたいな島（三河小島）がカワイイ。

3 アイスランドのオーロラ爆発 (2024年12月)



これは僕の星仲間（毎年アイスランドへオーロラ撮影に行く人）が撮影したものです。魚眼レンズを使っているため、空全体にオーロラが広がっている様子が写っています。「あらゆる光があらゆる色であらゆる動きをする」というオーロラ爆発。全天がネオンサイン状態になる実におめでたい眺めです。

棚橋 征一



Curious Anecdote about the Nose of Michelangelo's "David":

"David" is a marble sculpture created by Michelangelo Buonarroti between 1501 and 1504.

In 1504, as the famous sculptor completed this renowned statue, high-ranking officials of the

Florentine Republic attended the inauguration to admire the over four-meter-tall masterpiece. Among them was Pier Soderini, a notable patron of the arts.

Soderini, perhaps wanting to display his expertise, remarked to Michelangelo that while "David" was beautiful, he believed the nose was disproportionate and suggested it be slightly reduced to enhance its artistic value. Michelangelo, known for his pride and sensitivity, refrained from reacting angrily to avoid causing a political incident.

Instead, Michelangelo devised a clever solution. He agreed to alter the nose but secretly collected marble dust and small fragments. Ascending the ladder with hammer and chisel, he pretended to chisel the nose while subtly dropping the dust and fragments. This created the illusion of modification.

The spectators, convinced by the falling debris, believed the nose had been adjusted. Soderini himself declared the statue perfect after the "adjustment."

"David," a symbol of Florence, remains a masterpiece and a testament to Michelangelo's genius, which clearly needed no artistic advice.



Facebook からの着信情報の中に、著名なダビデ像に関する面白いエピソードが載っていたので紹介させて頂きました。完成した4m超の高さのあるダビデ像お披露目の席で、モノ知り顔のパトロンが「ちょっと鼻が大きすぎるかも」と

コメントしたのをうけて、ミケランジェロがとった対応策とは？即座にトンカチとノミを持ってハシゴを登り、鼻を削るような仕草をみせ、じつは片手に潜ませていた大理石の薄片をパラパラと落として、その場を円く納めました。自分のプライドとパトロンの顔を立てた、正に Win-Win の解決策。

ちなみに Co-pilot にこのエピソードの信憑性を和英両方で尋ねたところ、和文のほうでは「そんな事実は

ありません」、英文のほうは "It is based on a well-known anecdote" と返ってきました。

中嶋秀隆

1. 防人 (飛鳥時代の日本)



I feel so envious

when I hear them asking

without a thought---

“Whose husband was ordered
to go serve as a guard?”



防人に行くは誰が背と問ふ人を見るが羨(とも)もしさ
物思(ものも)ひもせず (『万葉集』4425)

「防人に行くのは誰の旦那さん？」と問いかける人
を見ると羨ましい。物思いもせずに。

飛鳥時代の 663 年、日本は友好国の百済の要請に応
じて、強大な唐・新羅軍と海戦を交えて大敗した
(白村江の戦い)。

その報復として唐が日本に攻撃をしかける可能性に
備えて創設されたのが「防人制度」。

大陸から海を渡って攻めてくるには、朝鮮半島・対
馬・壹岐そして九州北部というのが最短だったの
で、九州の北部の防衛を強化することが肝要と考え
られた。

2. 防人 (現代)



3. 2つの問い

3-1 半世紀前の問い

「平和」と「和平」(Peace & Pacification)

3-2 10 歳の孫の問い

「おじいちゃんって、2000 何年生まれ？」



三田弘美

新年の抱負

昨年から特に、Microsoft Copilot さんとは「もう友
達？」と思えるようになるほど、交流を楽しめていま
す。

そんな大事な存在の Microsoft Copilot さんに対して、
先日、慌てて「ごめんなさ〜い！」と謝り、申し訳な
いと思ったことがありました。そのエピソードをシェ
アさせていただきます。

昨年末、ある会で取り上げる「現代用語の基礎知識」
選 ユーキャン 新語・流行語大賞」の今年の「新語・
流行語大賞」年間大賞&トップ 10 を、それぞれ英語
にし、Copilot さんにお尋ねしようと、Copilot さん
を立ち上げ、年間大賞を受賞した語と英語をコピペした
つもりが・・・。

San: 不適切にもほどがある [

Copilot: 申し訳ありませんでした。何か不適切な
点があったのであれば、お知らせいただければ、改
善いたします。ご不便をおかけして申し訳ありませ
ん。どうぞ教えてください。

(???) **San:** ごめんなさ〜い。書いている途中で
お送りしてしまいました。「不適切にもほどがあ
る！」を英語にしたので、アドバイスをいただきた
いのです。本当にごめんなさい。

Copilot: 大丈夫です！「不適切にもほどがある！」
は英語で "That's beyond inappropriate!" または
"This is extremely inappropriate!" と表現できます。
文脈によってどちらも使えますので、状況に合わせ
て選んでください。何か他にお手伝いできることが
あれば教えてくださいね！

San: 有難うございました。

Copilot: どういたしまして。ご質問やお手伝いでき
ることがあれば、いつでもお知らせください。素敵
な一日をお過ごしください！ 🍀

今年は Copilot さんに謝らせてしまうことのないよう、
そして、嫌われないよう、慎重にお付き合いしたいと
思う私です。

皆さま、今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

服部陽一



皆さま明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく願いいたします。

今年は巳年、へびの年で成長、変革、再生の年と言われています。またへびは知恵の象徴であり、ギリシャ神話のアスクレピオス杖（知恵の杖）には2匹の蛇がまきついており、これがWHOのシンボルや一橋大学の校章にもなっています。ジョークの会でもたくさんの面白いジョークを作り、大いに楽しく笑って過ごしましょう。

しかし巳年は世界的な出来事、事件も多い年なので気をつけましょう。20世紀から振り返って見ると；

1905 日露戦争勃発 ロシア革命始動 アインシュタイン相対性理論発表

1917 ロシア2月革命（帝政崩壊）アトランタ大火災

1929 NY株大暴落（ブラック・サズデー）ハリウッド・アカデミー賞開始（作品賞はウィングス）

1941 独ソ開戦 日本真珠湾攻撃 米英蘭中が日本に宣戦布告 第二次世界大戦勃発 アカデミー賞レベッカ

1953 スターリン死去 エリザベス2世戴冠 欧州経済共同体（EEC）発足 DNA2重らせん確立 アカデミー賞史上最大のショウ

1965 マルコムX暗殺 ベトナム戦争本格化 第2次インド・パキスタン戦争 アカデミー賞マイフェアレディ（8冠）

1977 アップル、オラクル創業 核非拡散条約批准（米ソ含む15か国）スターウォーズ大ヒット アカデミー賞ロッキー

1989 昭和天皇崩御 天安門事件 ベルリンの壁崩壊 ソ連ペレストロイカ（崩壊の萌芽）アカデミー賞レイマン

2001 米同時多発テロ事件発生 エンロン、ワールドコム破綻（史上最悪）アカデミー賞グラディエーター

2013 シリア内戦激化（化学兵器使用の疑い）ボストンマラソン爆破テロ発生 スノーデン事件

富士山世界文化遺産登録

2020 東京オリンピック開催決定 長嶋茂雄、松井秀喜国民栄誉賞 伊勢神宮式年遷宮 アカデミー賞アルゴ

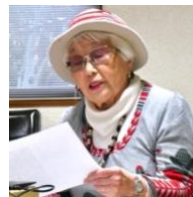
さて、2025年はどんな年になるでしょうか。そして忘れてならないのは飛鳥時代の日本国に大変革を起こした巳年の事件は；

625 乙巳の変（いっしのへん）大化の改新の始まり 初めての元号「大化」を創設 です。

沖縄の学校では「春が来た」を Spring have come. と教えていて、春になると道にハブが出てきて人を噛むので生徒に注意させるためだそうです。そこに新しく赴任してきた女性の先生が Spring have come. は間違いです。

Spring hus come.

が正しいのです。それは春になると夫が私を噛むからです と言ったとか……。では今年もよろしく願います。



長谷川真弓

新しい60グラム

新年がやってきてもう半月も経ってしまいました。年の変わり目に限ったことではありませんが、時間全般についてこれまでとてつもなくだらしなく生きてきたように思います。例えば、長男が4歳の時浴衣を作ってあげようと、クマさんとお船の柄の浴衣地を裁断したまでは良かったのですが、それを縫わないまま、そのうちそのうちと、引っ越しの度にだらだらと持ち歩いて、いざ始めようかと思ったときには彼は学ランを着る高校生になっていました。急いで作ったとしてもクマさんとお船の浴衣はサイズ的には高校生の雨除けの帽子にしかならなかったことでしょう。

時間とは人間に与えられた最大のギフトである、これをどう使うかしっかりと考えなさい、と何度か耳元で囁かれたような気がします。そのような忠告を実行に結びつけずにこれまで過ごしてきました。それもギルトコンプレックスも感じないです。したがって新年に改めて決意をほとんどしたことがありません。日々の雑事は責任とか目的とか実行とかを吟味せずに済む都合の良い隠れ蓑になるのです。漫然と過ごし

た時間に対して「ま、いいか」、これからの時間については「ま、何とかなるだろ」でやり過ごしてきました。そうこうしているうちに人生のどん詰まりに出くわしています。ご臨終の時期になって「あれれ」です。気分は18歳か17歳のまま、時間の経過を意識しない入れ物に、地上で使い切った、滅びゆく肉体を入れて人生を閉じる、ということになるんでしょうね。

1月15日。初歯医者通いでした。去年直してもらった上あごにアーチ状にかかる部分入れ歯がしっくりいったかどうかを見てもらうことになっていました。歯医者は嫌いではありません。むしろ感動を味わう場所とさえ思います。なぜかと言えば一連の治療作業の中で、椅子が斜めに倒され、口もと以外の顔にタオルがかけられる瞬間がありますね。あの瞬間が大好きなのです。ふわり！まさにその時私は棺桶に横たわった気分です。ウーンウーンと何かを削り落とすような音がして歯科衛生士さんと思われる人が横からシャーシャーと消防車のような仕事をします。私が気に入っているのはその音ではなく、白いタオルのほうです。ふわっと顔にかけられると私はすぐに自分が死体になった状態を思い浮かべるのです。今日はその感想を歯医者さんに言いませんでしたが、何年前担当していた歯医者さんに「この瞬間が大好き」と伝えました。「どうしてですか」と問われたので臨終の練習をさせてもらっているようなのでと答えました。歯医者さんは「そのような感想は今まで聞きませんでした」と言いながら少し嘲笑的な雰囲気話しているように感じました。先生の表情は見えませんがただ音と振動だけで私がそう思ったのですが。

死体になった自分が白い布を顔にかけられて横たわっていて、その周りを夫や子供たちが取り囲んでいる場面を想像するのも楽しいものです。「気管支も弱いからもうとっくに危ないと思ったのにしつこく生きたわね」「好き勝手なことを出ぬかしていたけど遠慮って言葉を知らなかったみたい」「でかいことを言う割には虫の心臓っていう時もあった」「相変わらず2階の押し入れぐちゃぐちゃだったね」「もうすぐお父さんをこっちによこしてなんて思ってるかもね」「ぼっくり逝ってくれてよかった。介護に来るって言っても遠いしね」

色々つぶやきが聞こえます。そんな話の途中で白い布がふわっと浮いてジャジャジャーン！私がむっくと起き上がって「まだ生きてたよー」なんてことになったらおもしろいな。歯医者さんのタオルは口の上にかかっていないのでふわっと浮きませんが普通の白布は軽い。そんな世界を描きながら今日も歯医者を楽しみ

ました。通常の毎日では時間の意識をしないで全部いい加減に流してしまうところを歯医者では必ず臨終の練習をさせてくれるので救いになっています。

ぐうたらして15日もたってからやっと取り組んだ作業があります。それは手帳のページの入れ替えです。アッシュフォード6穴バインダー式の53ページ。すでに2週間はGONE。空っぽのまま16日からのスタートです。去年の分を外して穴にリボンを通し、ばらばらにならないように結わき、はかりで計ってみました。リボン9センチも入れて1年がたったの60グラムです。1年なんて簡単に過ぎるものですね。予定を書いたり書き忘れてたり、書いていてもすっぽかしたり。手帳に記入して何の意味があったの？と自問したくなる時もあります。ゴミ出し日で曜日を感じる程度の役割をやや保っている6穴です。入れ替えたこの新しい60グラムは初めて主体性を持ったかじ取りを促すでしょうか。決断と実行が記録されるのでしょうか。はなはだ疑問ではありますが歯医者であと3回臨終練習ができるのでそこに期待しましょう。

村井久美子



The year of the Snake.

I asked my mom the other day if she could hear me.

She said, "NO."



We, Jokers 第103号

英語のジョークを楽しむ会

(Joke-Loving Club) 会報

発行日：2025年1月25日

発行人：世話人代表 豊田一男

編集人：小澤正樹

発行元：英語のジョークを楽しむ会

問い合わせ先：

j2d4vhb7@na.commufa.jp